学校だより

夢を育む元気な内外海小学校

Ｎｏ　６

われは海の子、内外海の子

七月三日（木）心配された天気も回復し、今年一番の暑さの中、第十三回遠泳大会が実施されました。開会式では、「練習の成果を発揮し、ふるさとの海をみんなと協力して泳ぎきります」と力強く選手宣誓してくれました。

五年生からスタートしました。「えーんや、こおーら」のかけ声のもと、隊列を組んで進んでいきます。六年生は岸から、大きなメガホンで応援します。途中、担任から、「〇〇さん大丈夫ですか」との問いに、「はい、大丈夫です」の元気な返事が返ってきました。風が強く心配していたのですが、この返事で安心しました。ゴールの阿納海岸からは、子ども達や地域・保護者の方の懸命の応援が続きます。これに応えて七名が、見事泳ぎました。

続いて六年生がスタートしました。昨年経験していたので、表情に余裕が見られます。一人ひとりが「えーんや、こおーら」のかけ声をかけていきます。また船上からも、同級生が懸命にかけ声をかけます。五年生も先

ほどのお礼に、ひときわ大きな声で六年生を応援しました。

途中、記録写真にポーズをとるなど、余裕綽々で泳いでいきます。見事な隊列を組みながら、いよいよゴールの阿納海岸です。五年生、地域・保護者の方、応援の子ども達から大きな拍手に迎えられ、無事泳ぎきることができました。

五年生、六年生とも横断幕をバックに記念写真を撮りました。一人ひとりの大きな仕事をやり遂げた後の、誇らしげな表情が印象的でした。

遠泳大会の運営につきましては、練習・大会当日にわたりまして、地域や保護者の多くの方に大変お世話になりまして、ありがとうございました。お陰様で無事終えることができまして、心から感謝申し上げます。

六年生は翌日の道徳の時間に、「感謝の心」の学習をしました。子ども達は、多くの人に支えられ育っていることを理解しています。この感謝の気持ちを、日常生活の中で、どのように実践したらよいかを考えるよい機会であったと思います。道徳の時間で考え、日常生活で実践する子どもに育ってほしいと思います。

二年・四年生の発表会

七月二日（水）、四年生が学年発表会で、内外海寄席をしてくれました。ねたは「ちゃくりがぎいふ」「さらやしき」「ぶしょうねこ」「まわりねこ」でした。ねたは、学校図書館にある本から選びました。会場ではいす、座布団、ねためくりと準備が整い、可愛い落語家さんの登場です。どの落語家さんも自分の持ちねたをしっかり覚え、身振り手振りで話してくれます。その様子に会場から大きな歓声があがりました。

寄席が終わり子ども達から、「長い話を覚えていてすごい」「劇のようで楽しかった」「大きな声で話がよくわかった」等、次々と感想がありました。

多くの人の前で、何も見ないで発表することは難しいことです。しかし今年はどの学年も、その事に挑戦してくれています。顔をしっかり上げ、観客を見て話す四年生の姿は本当に立派でした。

二年生が、一年生を招待してスイミーの音読ペープサート劇をしました。一年生に見てもらおうと一生懸命練習や準備をしました。登場人物や風景は図画工作の時間に描きました。

発表では少し緊張しましたが、練習の時よりも動作がわかりやすく、大きな声でできました。一つ大きいお兄さん・お姉さんの役割をしっかり果たしてくれました。一年生も真剣な表情で聴き入っていました。